

大会スケジュール

9月18日(木)	9月19日(金)	9月20日(土)
9:00 受付開始 IB館中棟1F	9:00 受付開始 IB館中棟1F	9:00 受付開始 IB館中棟1F
9:30 口頭発表1 モデル・人工知能・ 機械学習 @大講義室	9:30 口頭発表3 言語・比喩・ インタラクション @大講義室	9:30 口頭発表4 思考・推論 @大講義室
10:50 休憩	10:50 休憩	10:50 休憩
11:00 会長講演 鈴木宏昭 氏 @大講義室	11:00 フェロー授賞式・ 座談会 大津由紀雄 氏 山梨正明 氏 + 橋田浩一 氏 @大講義室	11:00 口頭発表5 芸術・情動・学習 @大講義室
12:00 昼休み・編集委員会 @014講義室	12:00 昼休み・運営委員会 @014講義室	12:20 昼休み
13:10 口頭発表2 身体・運動 @大講義室	13:10 総会 @大講義室	13:30 ポスターセッション3 (13:00-張り出し可) @プレゼンテーション スペース
14:30 休憩	13:40 野島賞授賞式 13:55 @大講義室	
14:40 ポスターセッション1 (14:00-張り出し可) @プレゼンテーション スペース	14:00 特別講演 渡辺歌子 氏 @大講義室	
	15:30 休憩	15:30 休憩
16:40 休憩	15:40 フラッシュトーク @大講義室	15:40 ワークショップ2 WS5, WS6, WS7, WS8 @015, 014, 013, 011 講義室
16:50 ワークショップ1 WS1, WS2, WS3, WS4 @015, 014, 013, 011 講義室	17:20 アナウンス@大講義室	
18:50	17:30 ポスターセッション2 (15:00-張り出し可) @プレゼンテーション スペース	17:40
	19:00	

9月18日(木)

9:30-10:50 口頭発表1 モデル・人工知能・機械学習(会場:IB館 大講義室)

O1-1 自動操縦への適応のモデル化

森田純哉(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学), 前東晃礼(名古屋大学), 寺井仁(名古屋大学), 小島一晃(帝京大学), Frank E. Ritter(Pennsylvania State University)

O1-2 逐次的意思決定における探索と知識利用のジレンマへの対処方法

並木尚也(東京電機大学 大学院 理工学研究科), 大用庫智(東京電機大学 大学院 理工学研究科), 高橋達二(東京電機大学 理工学部)

O1-3 次元クラスタリング:身体情報のフラクタル次元に基づく認知過程の分析

日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学), Neeraj Kashyap(北陸先端科学技術大学院大学), Wannipat Buated(北陸先端科学技術大学院大学), 藤波努(北陸先端科学技術大学院大学)

O1-4 高度な自動支援システムの長期間の学習に見る多様性:運転支援システムにおけるモード切替の学習を中心にして

富田瑛智(筑波大学), 山本真之(株式会社デンソー), 小栗崇治(株式会社デンソー), 石川貴洋(株式会社デンソー), 須藤智(静岡大学), 原田悦子(筑波大学)

11:00-12:00 会長講演(会場:IB館 大講義室)

L1 知性の生成的、重奏的、開放的性質

鈴木宏昭(青山学院大学:日本認知科学会会長)

13:10-14:30 口頭発表2 身体・運動(会場:IB館 大講義室)

O2-1 系列学習における顕在的知識が転移に与える影響:知識の直接的教示と自発的発見の差異

田中観自(東京大学 先端科学技術研究センター), 渡邊克巳(東京大学 先端科学技術研究センター)

O2-2 仮想空間における没入感の定量化手法の提案 ―仮想空間内での身体移動のずれが没入感に及ぼす影響―

渡邊翔太(名古屋大学 大学院情報科学研究科,文京学院大学 大学院人間学研究科), 長野祐一郎(文京学院大学 人間学部), 岡ノ谷一夫(東京大学 大学院総合文化研究科,JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト), 川合伸幸(名古屋大学 大学院情報科学研究科,JST ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト)

O2-3 発声の大きさと動作の大きさの適合性 ―円描画課題による検討―

永井聖剛(愛知淑徳大学/産業技術総合研究所), 山田陽平(奈良教育大学), 河原純一郎(中京大学)

O2-4 身体表現芸術における技術の学習プロセスに見られる多様性

清水大地(東京大学大学院教育学研究科), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科, 東京大学大学院情報学環)

14:40-16:40 ポスター発表1(会場:IB館 中棟1F プレゼンテーションスペース)

P1-1 日本語母語者の単語のメモリスパンへの文字数の影響の個人差

水野りか(中部大学), 松井孝雄(中部大学)

P1-2 女性看護師の腰痛改善を目指す姿勢認知教育プログラムver.2におけるコラム法の効果

武田啓子(日本福祉大学健康科学部), 渡邊順子(聖隷クリストファー大学看護学部)

P1-3 話し合いによって認知科学における概念変化を引き起こすための支援

遠山紗矢香(静岡大学)

P1-4 ワーキングメモリ課題およびタッピング課題による不快情動の制御 ―NIRSによる脳神経学的検討―

小澤幸世(東京大学大学院), 開一夫(東京大学大学院)

P1-5 教育経験と教室における注意:実際の教育場面における視線計測を通じて

玉宮義之(東京大学大学院 総合文化研究科), 林安紀子(東京学芸大学 教育実践研究支援センター), 田代幸代(東京学芸大学附属幼稚園), 開一夫(東京大学大学院 総合文化研究科)

P1-6 カメレオン効果におけるミラーシステムの活動

佐藤晃裕(明治大学大学院 理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学 理工学部)

P1-7 統合失調症傾向がラバーハンド錯覚時の脳活動に与える影響

餘田尚彦(明治大学大学院 理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

P1-8 忘却現象に関する素人理論―記憶高進現象を基盤とした検討―

林美都子(北海道教育大学函館校)

P1-9 ラバーハンドイリュージョン中の脳内処理に影響を与える性格特性の検討

金山範明(広島大学), 小西宏奈(広島大学), 桜井悟(広島大学), 松本知也(広島大学), 岡本泰昌(広島大学), 森信繁(高知大学), 山脇成人(広島大学)

P1-10 系列的な問題解決学習過程時の最大血圧の変動:手がかり利用および年齢差の検討

大門貴之(筑波大学人間総合科学研究科心理専攻), 原田悦子(筑波大学人間系), 須藤智(静岡大学大学教育センター専任講師)

P1-11 ジャンケン観察課題における二人同時脳活動計測

小出允善(明治大学理工学部), 横山成紀(明治大学大学院理工学研究科), 松元まどか(明治大学), 嶋田総太郎(明治大学)

P1-12 社交不安障害傾向における他者視線に対する事象関連電位計測

都地裕樹(明治大学大学院理工学研究科), 嶋田総太郎(明治大学理工学部)

P1-13 初期関係構築における顔文字使用とフェイス欲求

伊東昌子(常磐大学 人間科学部)

P1-14 繰り返し学習モデルにおける高速化のための文字列省略プロセスの提案

須藤洸基(富山高等専門学校 専攻科 制御情報システム工学専攻), 的場隆一(富山高等専門学校 電子情報工学科), 萩原信吾(富山高等専門学校 国際教育センター), 中村誠(名古屋大学大学院法学研究科附属 法情報研究センター)

P1-15 イメージを超える映像作品の修辞と強度、その認知

小川有希子(法政大学社会学部), 金井明人(法政大学社会学部)

P1-16 夜景を形づくる照明パタンの感性評価に及ぼす光点の大きさの影響

佐々木康成(金沢星稜大学), 坂東敏博(同志社大学)

P1-17 思考と行動の基盤を成す『相補性』という視座を考える

福永征夫(アブダクション研究会)

P1-18 対象物の認知における頻度情報の影響—部位頻度を用いた動物の同定を例に—

保田祥(人間文化研究機構国立国語研究所), 浅原正幸(人間文化研究機構国立国語研究所)

P1-19 主題文における「文脈的」な重複について ——文法的な観点からの検討——

程莉(神戸大学大学院)

P1-20 発音訓練による英単語スペル学習の促進

粟津俊二(実践女子大学), 鈴木明夫(東洋大学)

P1-21 L2知覚における抑制効果—類似性判定タスクによる検証

川崎貴子(法政大学), John Matthews(中央大学), 田中邦佳(法政大学非常勤)

P1-22 擬似的インタラクション時における非言語手がかりの推測—部分名称の語意推測を利用して—

安田哲也(十文字学園女子大学), 三浦巧(東京電機大学理工学部), 小林春美(東京電機大学理工学部)

P1-23 基本形の論理特性と文の構造的曖昧性の処理

山森良枝(同志社大学)

P1-24 意味カテゴリーは離散か連続か—アスペクトの実時間処理に基づく検討—

石井創(法政大学大学院), 石川潔(法政大学)

P1-25 脳内での言語と運動の予測処理の関係

高橋慶(東北大学大学院国際文化研究科), 横山悟(千葉科学大学 薬学部), 吉本啓(東北大学高度教養教育・学生支援機構), 川島隆太(東北大学加齢医学研究所)

- P1-26 認知論的視点に基づく英語のTime-away構文と動詞・不変化詞構文の繋がりについて
本多明子(至学館大学 健康科学部)
- P1-27 日本語使役空間移動動詞における焦点と意味役割
伊東朱美(東京外国語大学留学生日本語教育センター(非常勤講師))
- P1-28 社会ネットワークと流行語の伝播の関係を示すシミュレーションモデルの構築
中村誠(名古屋大学), 的場隆一(富山高等専門学校), 萩原信吾(富山高等専門学校), 東条敏(北陸先端科学技術大学院大学)
- P1-29 統合物語生成システムにおける焦点化機構に向けて
秋元泰介(岩手県立大学ソフトウェア情報学部), 小方孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部)
- P1-30 流動-固定の概念に基づく物語生成の構想—統合物語生成システムの発展のための基本概念(1)—
小方孝(岩手県立大学ソフトウェア情報学部), 秋元泰介(岩手県立大学ソフトウェア情報学部), 小野淳平(岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科)
- P1-31 空間周波数と明度の操作とノイズ付加が服地画像への触感評定に及ぼす影響
松田憲(山口大学大学院理工学研究科), 森本敬子(山口大学大学院理工学研究科), 長篤志(山口大学大学院理工学研究科)
- P1-32 認識と認識錯誤のモデル化に関する一考察
松井理直(大阪保健医療大学保健医療学部)
- P1-33 縦格子とドット平面による立体錯視現象の研究—縦格子とドット平面間距離の変化と錯視像の変化の関係—
大槻正伸(福島工業高等専門学校電気工学科), 大越祥太(福島工業高等専門学校電気工学科)
- P1-34 遅延素子の層結合によるネットワークモデル
城真範(東大生産研・産総研)
- P1-35 自動化システムと警報システムの利用に関する実験的検討
前東晃礼(名古屋大学未来社会創造機構), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科), 寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科 JST/CREST), 小島一晃(帝京大学ラーニングテクノロジー開発室), 森田純哉(名古屋大学未来社会創造機構)
- P1-36 問題解決における外的資源の利用方法の効果についての検討
遠藤一樹(千葉大学), Kuangzhe Xu(千葉大学), 松香敏彦(千葉大学), 清河幸子(名古屋大学)

16:50-18:50 ワークショップ1

WS1 超々高齢社会における認知研究の新しい切り口を考える：29年後の日本認知科学会に向けて

企画： 小橋康章

話題提供者： 齋藤洋典(名古屋大学), 田中伸之輔・広瀬拓海(筑波大学), 戸田山和久(名古屋大学)

指定討論者： 行場次朗(東北大学), 新垣紀子(成城大学), 諏訪正樹(慶應義塾大学)

WS2 学習を再定義する：歴史と協働の中の学びへ

企画： 青山征彦(駿河台大学)・香川秀太(青山学院大学)

話題提供者： 川床靖子(大東文化大学)・有元典文(横浜国立大学)・土倉英志(浜松学院大学)

指定討論者： 青山征彦(駿河台大学)・高木光太郎(青山学院大学)

WS3 外国語副作用 ― 外国語がもたらす思考力の低下 ―

企画： 高野陽太郎(東京大学)

話題提供者： 高野陽太郎(東京大学)・柳生崇志(沖縄女子短期大学)・李承玉(東京大学)・森島泰則(国際基督教大学)

指定討論者： 玉岡賀津雄(名古屋大学)

WS4 概念変化と発達段階

企画： 白水 始(国立教育政策研究所)・益川弘如(静岡大学)

話題提供者： 三宅なほみ(東京大学)・村山 功(静岡大学)・田代直幸(常葉大学大学院)・山口悦司(神戸大学)

9月19日(金)

9:30-10:50 口頭発表3 言語・比喩・インタラクション(会場:IB館 大講義室)

O3-1 日本語児の統語標識ガ,ヲの学習—既存動詞を用いた文理解実験から—

趙璽(広島大学), 酒井弘(広島大学)

O3-2 他者を引き込んでいく戦略的インタラクションのモデル化

岩崎安希子(玉川大学), 下斗米貴之(玉川大学), 阿部香澄(電気通信大学), 長井隆行(電気通信大学), 大森隆司(玉川大学)

O3-3 新奇比喩の創発的解釈生成:構成語に対する視覚的注意の時間動態

寺井あすか(東京工業大学大学院社会理工学研究科), 中川正宣(東京工業大学大学院社会理工学研究科), 楠見孝(京都大学大学院教育学研究科), 地村弘二(東京工業大学精密工学研究所)

O3-4 幼児の統語発達モデル:日本語, 英語, 中国語の言語構造を反映した統語範疇の獲得過程

河合祐司(大阪大学大学院工学研究科), 大嶋悠司(大阪大学大学院工学研究科), 笹本勇輝(大阪大学大学院工学研究科), 長井志江(大阪大学大学院工学研究科), 浅田稔(大阪大学大学院工学研究科)

11:00-12:00 フェロー授与式・座談会(会場:IB館 大講義室)

F1 日本認知科学会フェロー授与式

フェロー: 大津由紀雄・山梨正明

座談会: 大津由紀雄・山梨正明・橋田浩一

13:40-13:55 野島賞報告セッション(会場:IB館 大講義室)

N1 野島賞報告セッション

受賞者: 高橋英之(大阪大学)・松原正樹(筑波大学)

14:00-15:30 特別講演(会場:IB館 大会議室)

L2 意味の生まれる気配を歌う

歌唱・講演: 渡辺歌子

15:40-17:20 フラッシュトーク(会場:IB館 大講義室)

話題提供者: P2-1~P2-53 各1分間の口頭による概要発表

17:30-19:00 ポスター2(フラッシュトーク)

(会場:IB館 中棟プレゼンテーションスペース)

P2-1 替え歌記憶法は有効か?(2)—メロディが記憶に及ぼす影響の検討—

杉野かよ子(名古屋大学), 清河幸子(名古屋大学大学院教育発達科学研究科)

P2-2 ノービスによる身体スキル獲得:身体動作の安定性と着眼点からの検討

市川淳(名古屋大学大学院情報科学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科), 寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科, JST/CREST)

P2-3 マーモセットは第三者間のやり取りが公平かどうかを判断する

安江みゆき(名古屋大学大学院情報科学研究科), 坂野拓(国立精神・神経医療研究センター), 一戸紀孝(国立精神・神経医療研究センター), 川合伸幸(名古屋大学大学院情報科学研究科)

P2-4 小3~中2にかけての密度概念の発達

岩田眞樹子(みどり市立笠懸南中学校(放送大学大学院文化科学研究科平成26年3月修了))

P2-5 文章産出における課題情報が表象表出過程に及ぼす影響

山川真由(名古屋大学大学院 教育発達科学研究科), 藤木大介(愛知教育大学 教育学部)

- P2-6 仲間はずれにされると視線に敏感になるか？—社会的排斥経験が視線注意効果に及ぼす影響—
仲嶺真(筑波大学大学院人間総合科学研究科), 平田佐智子(明治大学), 山田陽平(奈良教育大学), 永井聖剛(愛知淑徳大学 / 産業技術総合研究所)
- P2-7 センサ付きおしゃぶりをを用いた乳児の随伴性検出に関する研究
坂部美希(東京大学教育学部総合教育課学科心身発達科学専修), 石井健太郎(東京大学総合文化研究科), 開一夫(東京大学総合文化研究科)
- P2-8 児童の音楽創作と性格傾向の相関について
馬田一郎(ヤマハ音楽振興会, (独)情報通信研究機構), 渚智佳(ヤマハ音楽振興会), 酒井勇也(ヤマハ音楽振興会), 小川純一(ヤマハ音楽振興会)
- P2-9 防災マニュアルの内容理解を促進する挿絵の条件
林聖将(東京大学大学院総合文化研究科), 石井健太郎(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)
- P2-10 「あっち向いてホイ」における同期の達成
牧野遼作(総合研究大学院大学複合科学研究科情報学専攻), 児玉謙太郎(神奈川大学経済学部), 末崎裕康(産業能率大学学生相談室), 園田耕平(滋賀大学教育学部)
- P2-11 英語シャドーイングが英語読解プロセスに与える影響:近赤外分光法による脳内処理メカニズムの検討
門田修平(関西学院大学), 中野陽子(関西学院大学), 風井浩志(関西学院大学), 川崎真理子(愛知学院大学), 氏木道人(関西学院大学), 中西弘(東北学院大学), 野呂忠司(愛知学院大学), 長谷尚弥(関西学院大学)
- P2-12 聴覚フィードバックの遅延検出に対する事象関連電位成分の検討
樋田浩一(明治大学/JST CREST), 上野佳奈子(明治大学/JST CREST), 嶋田総太郎(明治大学/JST CREST)
- P2-13 錯視図形の認識における提示時間と視線固定の有無の影響
小堀聡(龍谷大学理工学部電子情報学科)
- P2-14 読書後のプロトコル分析を用いた物語読書中の熱中・忘我状態の観察と記述
布山美慕(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部)
- P2-15 エピソード的未来思考における意味記憶の役割—並列分散処理モデルによる検討—
伊藤友一(名古屋大学, 日本学術振興会), 上野泰治(名古屋大学, 日本学術振興会), 北神慎司(名古屋大学), 川口潤(名古屋大学)
- P2-16 記号コミュニケーションシステムの形成過程におけるヒトのミラーニューロンシステムの役割を明らかにする脳波計測実験
李冠宏(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科), 金野武司(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科), 橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科), 奥田次郎(京都産業大学大学院先端情報学研究科)
- P2-17 部首情報と係り受け単語出現における統計的規則:コーパス分析に基づく客観的指標による検討

猪原敬介(電気通信大学 情報理工学研究科), 上野泰治(名古屋大学 環境学研究科(日本学術振興会))

P2-18 協同学習形式の散文理解におけるコミュニケーション構造(II)

光田基郎(聖霊女子短大)

P2-19 一般/特殊ジレンマ, 規則/例外ジレンマ

浅川伸一(東京女子大学)

P2-20 単語の意味と声質の印象一致が語の処理に及ぼす影響
—サイン音を付加提示した場合—

宮代こずゑ(筑波大学人間総合科学研究科), 望月哲(筑波大学人間学群人間学類), 原田悦子(筑波大学人間系)

P2-21 シルエットで表現された身体化エージェントが誘発する存在感のユーザへの影響

鈴木聡(成蹊大学), 齋藤涼(成蹊大学), 小方博之(成蹊大学)

P2-22 乳幼児期における音楽的行動の発達研究データベース—機能の解説と研究への利用可能性の検討—

丸山慎(駒沢女子大学人文学部心理学科・ヤマハ音楽振興会ヤマハ音楽研究所), 山崎寛恵(東京大学大学院教育学研究科・ヤマハ音楽振興会ヤマハ音楽研究所), 森内秀夫(ヤマハ音楽振興会ヤマハ音楽研究所)

P2-23 フィールドにおける「指揮」の相互行為的達成

榎本美香(東京工科大学), 伝康晴(千葉大学)

P2-24 第二言語の音声単語認知における聴覚性プライミング効果—肉声と合成音声では学習効果が異なるか—

松田紀子(関西学院大学大学院)

P2-25 日本人英語学習者のWh疑問文運用能力に関する予備調査: 心理言語学的研究に向けて

森下美和(神戸学院大学), 原田康也(早稲田大学)

P2-26 図的推論における視覚情報と意味論的情報

佐藤有理(東京大学大学院情報学環), 和嶋雄一郎(大阪大学未来戦略機構), 植田一博(東京大学大学院情報学環)

P2-27 子どもの色語の獲得過程

大石みどり(慶應義塾大学), 佐治伸郎(鎌倉女子大学 児童学部 子ども心理学科), 浅野倫子(立教大学 現代心理学部 心理学科), 今井むつみ(慶應義塾大学 環境情報学部 環境情報学科)

P2-28 味覚理解の記号論的モデル

福島宙輝(慶應義塾大学院)

P2-29 変数の分解を通した値の推定によるアンカー効果の緩和

松室美紀(名古屋大学大学院情報科学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科), 寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科)

P2-30 エージェントからの自己呈示とフィードバックに対する人間の反応

齋藤ひとみ(愛知教育大学), 片野舞(愛知教育大学), 福岡弘樹(愛知教育大学)

P2-31 共同作業がうまくいくコツとは? —マシュマロ・チャレンジを例として—

鈴木紀子(帝塚山大学経営学部), 阪田真己子(同志社大学文化情報学部), 稲田香織(同志社大学文化情報学部)

P2-32 活動の中で学習を捉えるための理論枠組みの一検討

三宅芳雄(放送大学)

P2-33 Webマイニングにおける新たなアプローチ: 想定外検索(Search Engine Offering Result of No Assumption)の提案

岡本悠作(愛知工業大学), 澤野弘明(愛知工業大学), 鈴木裕利(中部大学), 伊藤誠(株式会社名鉄情報システム), 石井成郎(愛知きわみ看護短期大学), 原崇(株式会社スナップショット)

P2-34 高齢者の詐欺犯罪脆弱性についてのtaxometric分析

渡部諭(秋田県立大学), 澁谷泰秀(青森大学), 吉村治正(奈良大学), 小久保温(青森大学)

P2-35 結晶性知能は高齢化に対し頑健か?: 「知識」を利用する過程の分析に見る加齢の効果

原田悦子(筑波大学人間系), 大石優衣(筑波大学人間学類)

P2-36 サッカー指導における熟練者と未熟者の注視行動の違い

岩月厚(名古屋大学大学院情報科学研究科), 平山高嗣(名古屋大学大学院情報科学研究科), 森田純哉(名古屋大学未来社会創造機構), 間瀬健二(名古屋大学大学院情報科学研究科)

P2-37 The Neural Correlates of Action- and Speech-based Lies: A Near-Infrared Spectroscopy Study

Victor Palacios(Graduate School of Information Science, Nagoya University), Hirofumi Saito(Graduate School of Information Science, Nagoya University), Misato Oi(Graduate School of Information Science, Nagoya University), Shuang Meng(Graduate School of Information Science, Nagoya University), Ryoma Yamada(Graduate School of Literature and Social Sciences, Nihon University), Yukio Itsukushima(Graduate School of Literature and Social Sciences, Nihon University)

P2-38 うつむきは虚偽自白のはじまり? —身体姿勢と同調傾向が潜在的・顕在的態度に与える影響—

藤桂(筑波大学), 永井聖剛(愛知淑徳大学・産業技術総合研究所)

P2-39 感情的評価と認知的評価との不協和事態における前頭前野の活動: 趣味活動に対する Near-infrared spectroscopy (NIRS) を用いた研究

大井京(名古屋大学大学院情報科学研究科), 齋藤洋典(名古屋大学大学院情報科学研究科), Matthew Pelowski(Department of Psychology, Copenhagen University), Victor Palacios(名古屋大学大学院情報科学研究科), 孟爽(名古屋大学大学院情報科学研究科)

P 2-40 診察室での問診をモデルとしたITながらコミュニケーションの分析

南部美砂子(公立はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科), 福住伸一(NEC情報・ナレッジ研究所), 谷川由紀子(NEC情報・ナレッジ研究所)

P2-41 協調学習のデザインを介した教師の学習観の推定と変容支援

白水始(国立教育政策研究所), 紙谷智(魚津市立東部中学校)

P2-42 ヒューマン-エージェント・インタラクションにおける相互適応過程の実験的検討

高岡勇紀(京都工芸繊維大学), 尾関基行(京都工芸繊維大学), 岡夏樹(京都工芸繊維大学)

P2-43 「面白い発話」の言語間対照のための準備的考察

定延利之(神戸大学), 奥村朋恵(元・サントペテルブルク国立大学), 宿利由希子(ノボシビルスク国立大学), 昇地崇明(CLLE-ERSSaB UMR5263 CNRS & LaBRI UMR5800 CNRS, France)

P2-44 「一変数表示系」概念に基づく、図表現の一般的統語・意味分析の方法

下嶋篤(同志社大学文化情報学部), Dave Barker-Plummer(Center for the Study of Language and Information, Stanford University)

P2-45 創造性研究に供するためのデザインデータベースの開発とfMRIを用いた創造性評価に関する実験的検討

寺井仁(名古屋大学大学院情報科学研究科/JST CREST), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科), 水野隼輔(名古屋大学大学院情報科学研究科)

P2-46 手を合わせると反発知覚が増加する

齋藤五大(東北大学大学院文学研究科), 行場次朗(東北大学大学院文学研究科)

P2-47 相互信頼感形成の共関心擦り合わせモデル

片桐恭弘(公立はこだて未来大学), 石崎雅人(東京大学), 伝康晴(千葉大学), 高梨克也(京都大学), 榎本美香(東京工科大学), 岡田将吾(東京工業大学)

P2-48 参加型デザインによるWi-Fi AP設定マニュアルの改訂

新井田統(KDDI研究所), 久保隅綾(大阪ガス, 東京大学)

P2-49 対乳幼児動作における強調動作と視線との関連

長田かおり(東京大学大学院総合文化研究科), 山本絵里子(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)

P2-50 タイムプレッシャーが多属性意思決定におけるファントム効果に及ぼす影響

都築誉史(立教大学現代心理学部心理学科), 千葉元気(立教大学大学院現代心理学研究科), 相馬正史(立教大学大学院現代心理学研究科)

P2-51 参加人数の違いがインタラクションの方略に与える影響—ストーリー再生課題での検討—

鈴木紀子(帝塚山大学経営学部), 阪田真己子(同志社大学文化情報学部), 伊藤紀子(同志社大学文化情報学部)

P2-52 エビングハウス錯視は催眠で無効化できるか

漆原正貴(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科)

P2-53 想起性と安全性を両立するパスワード生成過程の分析

小倉加奈代(岩手県立大学), 坂松春香(岩手県立大学), ビスタベッドバハドゥール(岩手県立大学), 高田豊雄(岩手県立大学)

P2-54 研究手法のモデル化によって提案したITSと情報社会論の融合の進展

森田均(長崎県立大学国際情報学部)

9月20日(土)

9:30-10:50 口頭発表4 思考・推論(会場:IB館 大会議室)

O4-1 重いと思えば貴重と思える -重さの主観的負荷による価値判断への影響-

阿部慶賀(岐阜聖徳学園大学)

O4-2 意図、良し悪し、そして確率～Knobe効果に対する確率の影響～

中村國則(成城大学社会イノベーション学部)

O4-3 対称性推論のモデルとしての「双条件付確率」と小数サンプルからの因果帰納推論

高橋達二(東京電機大学理工学部), 大用庫智(東京電機大学大学院先端科学研究科)

O4-4 情報システム開発におけるソフトウェア技術者の思考の特徴に関する考察

谷川由紀子(NEC 情報・ナレッジ研究所/筑波大学大学院), 鈴木栄幸(茨城大学), 加藤浩(放送大学), 福住伸一(NEC 情報・ナレッジ研究所), 原田悦子(筑波大学人間系)

11:00-12:20 口頭発表5 芸術・情動・学習(会場:IB館 大会議室)

O5-1 表情と音声の情動知覚における視聴覚相互作用: 情動判断と反応時間の分析

正田悠(同志社大学文化情報学部・日本学術振興会特別研究員), 新田晴(同志社大学大学院文化情報学研究科), 鈴木紀子(帝塚山大学経営学部), 岸本和香(同志社大学文化情報学部), 阪田真己子(同志社大学文化情報学部)

O5-2 現代美術家の作品コンセプト生成過程に関するケーススタディ — インタビューデータの計量的分析に基づいて —

高木紀久子(東京大学大学院学際情報学府), 河瀬彰宏(国立国語研究所 コーパス開発センター), 岡田猛(東京大学大学院教育学研究科・情報学環), 横地早和子(東京未来大学こども心理学部)

O5-3 「対話による学び」の実践的評価

三宅なほみ(東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構), 齊藤萌木(埼玉県教育委員会), 飯窪慎也(東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構), 小出和重(東京大学大学発教育支援コンソーシアム推進機構)

O5-4 Spider is not special comparing with other animals in human early visual attention: Evidence from event-related potentials.

Hongshen He(名古屋大学大学院情報科学研究科), 久保賢太(名古屋大学大学院情報科学研究科), 川合伸幸(名古屋大学大学院情報科学研究科)

13:30-15:30 ポスター3(会場:IB館 中棟1F プレゼンテーションスペース)

P3-1 非共感覚者における心的数直線の個人差と不規則性

牧岡省吾(大阪府立大学 現代システム科学域)

P3-2 再認記憶課題における他者が選択した記憶項目に関する検討

石井健太郎(東京大学大学院総合文化研究科 / JST CREST), Siriluk Khuntaponbumrung(東京大学大学院総合文化研究科), 開一夫(東京大学大学院総合文化研究科 / JST CREST)

P3-3 歩行時の有効視野を規定する要因

正田真利恵(東京大学), 横澤一彦(東京大学)

P3-4 音声の基本周波数と抑揚が年齢知覚に及ぼす効果

堀紗矢香(東京女子大学), 田中章浩(東京女子大学)

P3-5 聴覚刺激を用いた異なる視点に基づく協同問題解決に関する実験的検討

松原正樹(筑波大学図書館情報メディア系), 松井淑恵(筑波大学グローバル教育院), 林勇吾(立命館大学文学部)

P3-6 「気配りができるナビゲーションシステム」のデザイン

永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学), 山本紘之(北陸先端科学技術大学院大学), 木原宏典(みまっしドットコム)

P3-7 実践共同体の学習活動における動機づけの発展についての研究 -「学習療法」実践の事例をてがかりに-

松本雄一(関西学院大学商学部)

P3-8 母子間相互作用の時間的操作が母親の対乳児動作に与える影響

松田剛(東京大学), 山本絵里子(東京大学), 長田かおり(東京大学), 旦直子(東京大学), 開一夫(東京大学)

P3-9 母子間相互作用における時間的随伴性が子どもの模倣行動に及ぼす影響

山本絵里子(東京大学、JST CREST), 松田剛(東京大学、JST CREST), 長田かおり(東京大学), 旦直子(帝京科学大学), 開一夫(東京大学、JST CREST)

P3-10 他者性の知覚と共感を誘発する自己投影像

熊崎周作(静岡大学大学院情報学研究科), 竹内勇剛(静岡大学大学院情報学研究科)

P3-11 視線インタラクションを通じた対話場と心理的状态の変化

高橋元紀(静岡大学大学院情報学研究科), 竹内勇剛(静岡大学大学院情報学研究科)

P3-12 コーチはどのように声をかけるのか -身体スキルの学びを促すためのインタラクション-

西山武繁(慶應義塾大学SFC研究所), 諏訪正樹(慶應義塾大学環境情報学部)

P3-13 エージェントとのインタラクションにおけるメタ相手モデルの思考過程への影響

浅田麻菜(電気通信大学 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻), 伊藤毅志(電気通信大学 情報理工学研究科 情報・通信工学専攻)

P3-14 並んで歩く身体—発話が「足並み」へ及ぼす影響—

新田晴(同志社大学大学院文化情報学研究科), 阪田真己子(同志社大学文化情報学部), 正田悠(日本学術振興会特別研究員), 鈴木紀子(帝塚山大学経営学部)

P3-15 返答挨拶に影響を及ぼすお辞儀と発話のタイミング構造

白井芳奈(同志社大学大学院文化情報学研究科), 阪田真己子(同志社大学大学院文化情報学研究科), 鈴木紀子(帝塚山大学経営学部), 山本倫也(関西学院大学理工学部)

P3-16 原初的なインタラクションを通じた対人認知の0次過程の検討

坂本孝文(静岡大学創造科学技術大学院), 竹内勇剛(静岡大学創造科学技術大学院)

P3-17 ミニマムエージェントとの空間的インタラクションを通じた自分に対する好悪推定

吉岡源太(静岡大学大学院情報研究学研究科), 竹内勇剛(静岡大学大学院情報研究学研究科)

P3-18 自身の「嘘」に対する確信の生まれ方 ～予備的検討～

石川悟(北星学園大学文学部)

P3-19 未知で不確実な環境に対する認知特性の意味と応用

甲野佑(東京電機大学大学院先端科学技術研究科情報学専攻), 高橋達二(東京電機大学理工学部情報システムデザイン学系)

P3-20 グループ全体としての顔の魅力知覚に与える呈示時間の影響

鎌水秀和(中京大学大学院心理学研究科), 牧野義隆(中京大学大学院心理学研究科), 河原純一郎(中京大学大学院心理学研究科)

P3-21 道徳ジレンマ状況での選択に対する行為の直接性と空間的近接の影響

眞嶋良全(北星学園大学社会福祉学部), 木村汐里(株式会社 カクダイ)

P3-22 高齢者グループの使い易さ批評活動における学習 —大学病院の使い易さをめぐる『みんなの使いやすさラボ』研究員チームの実践から

守下奈美子(筑波大学人間系), 茂呂雄二(筑波大学人間総合科学研究科), 広瀬拓海(筑波大学人間総合科学研究科), 今井健之(みんなの使いやすさラボ会員), 篠原秀夫(みんなの使いやすさラボ会員), 根岸幹和(みんなの使いやすさラボ会員), 八文字由利子(みんなの使いやすさラボ会員), 吉村功(みんなの使いやすさラボ会員), 石津淑子(みんなの使いやすさラボ会員)

P3-23 食品パッケージの利用における加齢の影響

山崎寛恵(東京大学大学院教育学研究科), 原田悦子(筑波大学人間系), 小野公裕(ハウス食品グループ本社株式会社)

P3-24 情報セキュリティをBusiness Origamiで学ぶ — グループワークの分析 —

新川涼子(沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科), 原田悦子(筑波大学人間系心理学域), 丸山幸伸((株)日立製作所 デザイン本部), 田中伸之輔(筑波大学大学院人間総合科学研究科心理専攻)

P3-25 書店POP広告の「感情語」と「手書きフォント」が書籍の評価に与える影響

後藤靖宏(北星学園大学文学部 心理・応用コミュニケーション学科)

P3-26 壁に対する不快感は壁から離れる姿勢反応を誘発する

古田国大(中部大学大学院国際人間学研究科心理学専攻、あさひ病院リハビリテーション科), 松井孝雄(中部大学人文学部)

P3-27 動機づけ維持のためのレジリエンス向上に関する検討(2)ーレジリエンスを維持するメカニズムについてー

戸梶亜紀彦(東洋大学社会学部)

P3-28 痛みを表すオノマトペと比喩の関係性に着目した問診支援の可能性

土斐崎龍一(電気通信大学大学院情報理工学研究科), 羽田逸美(電気通信大学情報理工学部), 松田隆秀(聖マリアンナ医科大学総合診療内科), 内海彰(電気通信大学大学院情報理工学研究科), 坂本真樹(電気通信大学大学院情報理工学研究科)

P3-29 隠喩的表現における面白さの強度と理由の関係の検討

中村太戯留(慶應義塾大学), 松井智子(東京学芸大学), 内海彰(電気通信大学)

P3-30 領域固有知識が批判的思考(技能)のパフォーマンス課題の達成に及ぼす影響

後藤康志(新潟大学教育・学生支援機構教育支援センター)

P3-31 心的構えの形成過程と形成された構えの強度に関する検討

田村昌彦(立命館大学), 三輪和久(名古屋大学大学院), 寺井仁(名古屋大学大学院)

P3-32 継続的フラッシュサプレッション下での系列学習における刺激の遷移確率による学習の妨害効果

城戸楓(大阪府立大学), 牧岡省吾(大阪府立大学)

P3-33 洞察問題解決における手がかりの利用に気分が及ぼす影響

織田涼(立命館大学文学部), 服部雅史(立命館大学文学部)

P3-34 身体知と知覚:けん玉熟練者における視覚的な調整活動

伊藤万利子(早稲田大学), 三嶋博之(早稲田大学), 佐々木正人(東京大学)

P3-35 表計算ソフトによるグラフ作成に関する実験的検討

神崎奈奈(名古屋女子大学短期大学部)

P3-36 図を構築する協同学習が統計学習の理解に及ぼす影響の検討

福田麻莉(東京大学大学院), 深谷達史(群馬大学大学院), 植阪友理(東京大学大学院)

P3-37 リスク下の選択における認知的資源配分:注目の枠組みの最適性

犬童健良(関東学園大学経済学部)

P3-38 因果学習における介入の促進効果

斎藤元幸(関西学院大学大学院文学研究科), 嶋崎恒雄(関西学院大学文学部)

15:40-17:40 ワークショップ2

WS5 身体・運動と認知

企画： 嶋田総太郎(明治大学)・永井聖剛(愛知淑徳大学)

話題提供者： 永井聖剛(愛知淑徳大学)・佐藤徳(富山大学)・守口善也(群馬大学)・嶋田総太郎(明治大学)

WS6 学習研究のこれまで、今、これから

企画： 三宅芳雄

話題提供者： 三宅芳雄・中島秀之・三宅なほみ・寛一彦

WS7 アイロニー研究の新展開

企画： 内海彰(電気通信大学)・松井智子(東京学芸大学)・中村太戯留(慶應義塾大学)

話題提供者： 岡本真一郎(愛知学院大学):社会心理学・社会言語学／秋元頼孝(理化学研究所):心理学・脳科学／松井智子(東京学芸大学):発達心理学・語用論／内海彰(電気通信大学):自然言語処理・情報抽出

WS8 オノマトペと音象徴2

企画： 平田 佐智子(明治大学)

話題提供者： 浅野 倫子(立教大学)・井上 加寿子(関西国際大学)・宇野 良子(東京農工大学)・細馬 宏通(滋賀県立大学)・游 韋倫(神戸大学)・平田 佐智子(明治大学)